

新いりだ

ふじのき県議候補勝利と 共産党躍進で共闘発展必ず

十日町 小池書記局長訴え

2018年11月25日(日) 第1854号
新いりがた社 新潟市中央区花園2-3-10 ☎025(247)6366
毎月第4日曜日 定価150円 1966年7月22日 第三種郵便物認可



声援に応える小池氏(左から5人目)と(右へ)ふじのき、樋口の両氏ら=18日、十日町市

日本共産党の小池晃書記局長は18日、十日町市の党演説会で、来年4月の県議選(十日町市・中魚沼郡区、定数2)に立候補を表明している、ふじのき浩子候補(共産党津南町議)の必勝を訴えました。

ふじのき氏は、同区で自民党の2議席独占を打ち破ろうと、広範な市民と野党の支援を

受ける統一候補として議席獲得をめざしています。2016年以來の県内での市民と野党の共闘の前進が力となっています。

演説会では、共闘する「十日町・津南平和と共生」の市民代表のほか、社民党十日町支部協議会の小川元一会長が支援の訴え。隣接する南魚沼地域で自民党

議席の奪取を掲げて野党統一候補としてたかく樋口秀敏県議候補も連帯あいさつし、自由党の森ゆうこ参院議員、国民民主党の梅谷守新潟県連代表、阿部三代継前新潟県農業会議副会長の応援メッセージが読み上げられました。森氏の代理としてメッセージを読み上げた富井のふじ氏が「真実を伝える『赤旗』をぜひお読みください」と呼びかけるなど、会場は党派を超えた明るい連帯感にあふれました。

小池氏は「新潟県は市民と野党の共闘のシンボルの地。中でも十日町市と津南町はその先頭を走り、全国に勇氣と希望を広げている」と参加者を激励。ふじのき氏の勝利と日本共産党の躍進で安倍自公政権に厳しい審判を下そうと訴えました。

小池氏は、「外交の安倍一など自慢する安倍政権が農業破壊の日米FTAや日口領土交渉で国を売り渡すような大失態を続けていると批判。韓国大法院の徴用工判決を安倍首相は「ありえない」などとしたが、日本共産党の穀田恵二衆院議員の質問に「国家間の請求権を消滅させても個人の請求権を消滅させることはできない」としてきたことを外務省は認めざるを得なかった」と指摘。「政府はありえない」と切っ掛け捨ててではなく、過去の植民地支配と侵略戦争をしっかりと反省し、問題解決のために韓国政府とも冷静に話し合う努力をすべきだ」と主張しました。

また、米価の安定のため米の直接支払い制度の復活や中山間地域への支援充実で、希望の持てる農業をつくらうと呼びかけました。

小池氏は、来年の参院選へ向け政党本部間で早く協議に入る独自の努力を強めているとし、「共闘を伸ばし本気の共闘にするためにも共産党がもっと伸びなければなりません。そうしてこそ自民党を追い詰めることができる」と氣迫を込めました。

ふじのき候補は、地域医療充実、原発再稼働ノー、憲法守れと訴え、市民と野党の共闘の発展の先頭に立つ決意を表明。支援の来賓や小池氏と並んで大きな拍手に包まれました。

新潟市長選 小柳氏9万票の健闘 未来をつくるたまたかいさらに

10月28日投票された新潟市長選は、市民と野党7党(共産、立憲、国民、自由、社民、新社会、緑)の共闘でたたかった無所属新人の小柳聡氏(31)が9万902票(得票率27.6%)を獲得し、自民党の前参院議員の候補に8000票差まで猛追しましたが、及びませんでした。当選は無所属新人の中原八一氏(59)が前参院議員。

午後10時半頃に中原氏の当確が報じられた後、小柳氏は「多くの皆さんに支えていただき、悔いなくたたかうことができました」と、選挙戦を支援した市民への感謝の意を表明。「多くの方から、『新潟市を変えなければい

けない』『若い力に期待する』などの言葉をいただいた。たまたかいは終わりではありません。新潟の未来をしっかりとつくるため、今後活動したい」と語ると、支援者から大きな拍手が送られました。4人の有力候補が争い、投票率(49.83%)が前回から9.26ポイント上昇した今回の市長選。柏崎刈羽原発反対、改憲反対を訴えてきた小柳氏は、北区、秋葉区での得票が1位になるなど健闘しました。

当中原 八一 59無新 98975
小柳 聡 31無新 90902
吉田 孝志 56無新 90539
飯野 晋 45無新 49425

新潟市議選 定数4減で3議席確保 議席占有率も伸ばす

10月28日投票された新潟市議選(定数20、4減、立候補24人)で、日本共産党は、現職の土田のぼる氏(71)、長井ゆきお氏(60)、みやじ敏裕氏(60)の3候補が当選し、引き続き、議

案提案権を確保するとともに、議席占有率を12.5%から15.0%へと伸ばしました。三候補の得票合計の3667票は、昨年の総選挙での党の比例票の1.35倍となりました。

日本共産党の躍進で消費税10%増税ストップを 統一地方選県議5議席 市議席増を



統一地方選での躍進を訴える(右から)渋谷、鈴木、西澤の各氏=16日、新潟市

新潟県委員会と新潟地区委員会は16日、合同で、飛行機雲がくつきりと見える青空のもと、新潟駅前で元気に宣伝しました。
西澤博政策委員長、渋谷明治県議、鈴木映新潟市議候補がマイクを握りました。
渋谷県議は、消費税10%への増税について、「最悪の逆立ち税制だ。共産党を伸ばして増税をやめさせましょう」と訴えました。鈴木候補は、新潟市は基金が底をついたと指摘し、

「無駄な大型開発を見直し、市民のくらしに税金を使うべきだ」と強調しました。
西澤氏は、来年の県議選で共産党は5議席をめざすと表明。1、2人区でも野党共闘で頑張る決意を述べました。さらに、「市民と野党の本気の共闘で、参院選に勝利しよう」と訴えました。
12月8日の志位委員長の演説会のチラシを手に取った男性が、興味深そうに見ながら歩いて行きました。



「しんぶん赤旗」の役割について学びあった講演会=17日、新潟市

材現場の話を取材する中で、取材対象に半歩でも迫り、肉薄する気が概で活動していることを強調。イラク戦争時のメディアの報道に識者が「知的劣化が進んでいる」「怒る能力がない」と分析力も働かない」と述べたこと

冒頭、フォークグループ「なじらねじょんのびーず」が歌いました。
参加者から「40年来の『赤旗』読者です。毎日、『赤旗』に目を通してから1日が始まりです。最近は何となく『赤旗』を見ないと政

「赤旗」の使命に確信持って政治変える

文化後援会が中祖記者招き講演会

新潟県日本共産党文化後援会と県後援会は17日、新潟市で「秋の文化講演会」を開き、65人が参加しました。
野崎洪県後援会事務局長が、後援会活動の日常化と抜本的強化を強調しました。
樋渡士自夫県委員長は、野党共闘でたまたかった新潟市長選の前

講演した赤旗編集局長は、中祖記者の政治部記者の中祖直一さんは、臨場感ある取材現場の話を取材する中で、取材対象に半歩でも迫り、肉薄する気が概で活動していることを強調。イラク戦争時のメディアの報道に識者が「知的劣化が進んでいる」「怒る能力がない」と分析力も働かない」と述べたこと

12月8日(土)14:30~ 新潟市民芸術文化会館
市民と野党の共闘、朝鮮半島の平和の動き、安倍政治打倒の道筋などについて
志位和夫委員長がお話します

新人 馬場氏当選
10月21日投票の見
附市議選(定数17、立候補19人)で、日本共産党は現職の高橋けんいち氏(69)が10位、新人の馬場てつじ氏(71)が16位で当選し、現有2議席を確保しました。引き続き議案提案権を確保しました。
両氏の得票合計は1694票で、昨年の衆院比例票の1・04倍となりました。

治の流れはつかめません。世の中の流れも。今日は生々しい講演、感動的でした」との感想が寄せられました。

原発問題を考える
柏崎刈羽地域連絡センター事務局長

6

67



原発ゼロ、自然エネをめざす高橋さん

「全国の多彩な運動や学習も深め、私も参加者にも確信になったと思う。講演した県の福島原発事故検証総括委員会の委員長を務める池内了名古屋大学名誉が、市民の声をたくさん聞いて結論を出さずと話していたのが印象

1990年に結成された地域連絡センターに最初から参加し活動。センターとして柏崎刈羽原発の危険性や問題点を発信し、度重なる同原発の事故や不手際に対し、東京電力をはじめ県や市、国とも交渉し、市民の声を届け、論陣を張ってきました。5月から同セ

11日に柏崎市で開かれた原発住民運動全国連絡センター主催の全国交流集会「福島事故の検証ない原発再稼働はありえない」には120人が参加。事務局の一員として尽力しました。

ンターの事務局長を務めていきます。2007年の中越沖地震で柏崎刈羽原発3号機の火災と黒煙を見て震撼しました。それでも心のどこかにまだゆとりがありました。しかし、2011年の福島原発事故では、原発が爆発する瞬間を見

て驚きで腰が抜けるほどでした。この事故で考え方が一変しました。「原発事故は今や取り返しのつかない、後始末のできないものであり、猛毒の死の灰・大量の使用済み核燃料は未来の子孫に残してはいけません。今の安全のために原発はただち

に廃炉しなければならぬ」と思いました。16年の知事選で市民と野党共闘の米山隆一氏が勝利、6月の知事選では池田千賀子氏が惜敗しましたが、柏崎市では得票が相手候補を上回りました。安保法制反対の運動以来、市民と野党の

危険な負債、未来に残さない
原発ゼロ・自然再生エネ普及こそ

共同は着実に前進しています。5年前から新潟県と長野県の市民18団体が開いている「なくそテ原発！柏崎

大集会」には毎年100人以上が参加。実行委員会の一団体として奮闘しています。昨年12月に原子力規

集会でも来年から共同したいとの申し出も出ています。こうしたことは面期的なことです。



貴重な活動を交流した全国集会＝11日、柏崎市

制委員会が柏崎刈羽原発6、7号機の新規性基準に「適合」の決定をした日に、地元の新潟県再稼働反対の4団体は共同で抗議の記者会見を行いました。市内で活動している4団体が初めて共同したのは初めてです。原発大

第一線を退くまでは、不動産・建築士として営業。中学時代から始めたギターが趣味で、仲間と「柏崎コカリナクラブ」で活動し、敬老会などで演奏し、癒しと喜びを味わってもらっています。「柏崎登山愛好会」にも属し、こよなく自然を愛しています。「2つの知事選を通じて、原発再稼働反対の県民意思が多数だとはっきりした。しかし再稼働を中止させるには、地域経済への影響

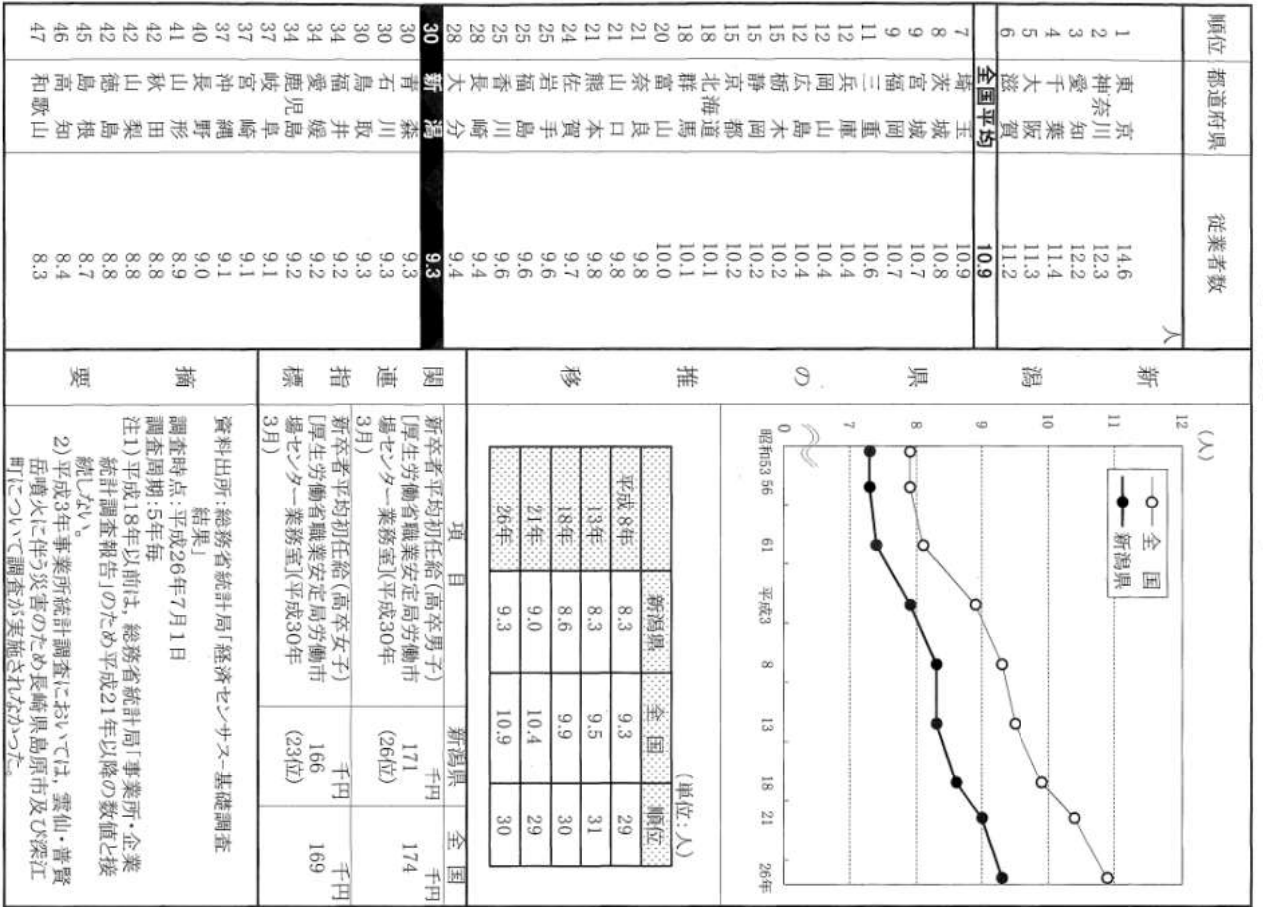
社会医療法人 新潟勤労者医療協会
理事長・高橋常彦 〒956-0814 新潟市秋葉区東金沢1459-1 TEL0250(24)5170
下越病院 〒956-0814 新潟市秋葉区東金沢1459-1 TEL0250-22-4711
舟江診療所 〒951-8011 新潟市中央区入船町3-3629-1 TEL025-229-3588
介護老人保健施設入舟 〒951-8011 新潟市中央区入船町3-3629-1 TEL025-229-3588
沼垂診療所 〒950-0075 新潟市中央区沼垂東6-4-12 TEL025-244-0116
坂井輪診療所 〒950-2054 新潟市西区寺尾東3-8-35 TEL025-269-6630
おぎの里 〒956-0012 新潟市秋葉区荻野町3-8 TEL0250-25-3071
ときわ診療所 〒950-0036 新潟市東区空港西1-15-17 TEL025-274-2714
かえつクリニック 〒956-0836 新潟市秋葉区田家2-1-30 TEL0250-22-5888
かえつ歯科 〒956-0831 新潟市秋葉区中沢町1-25 TEL0250-25-5510

などの疑問や不安を払拭しなければならぬ。そのために地元で自然再生エネルギーの産業を起さなくとも、越冬野菜や、みずみずしい果実がふれる季節、それは無理。

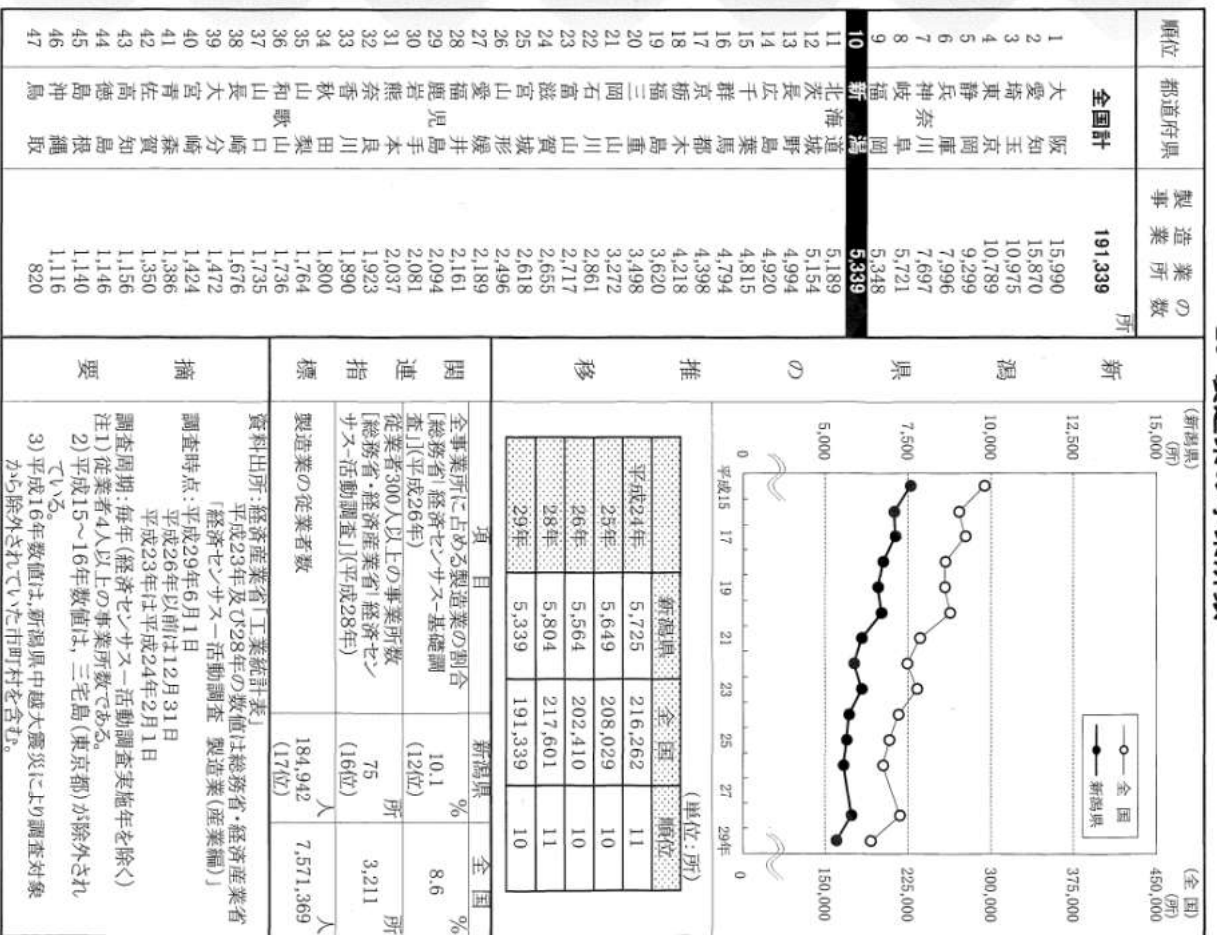
高橋シズ

「新潟県100の指標」平成30年度版より (県発行)

22 従業者数 (1事業所当たり)



23 製造業の事業所数



* 順位は数値の大きい方からつけています。

* 順位は数値の大きい方からつけています。